



# 原稿募集 読者が作る本

あなただけの“とっておきの話”をお寄せください

ふと思いつくたびに心に小さな灯がともるような話。信仰にまつわる話から日常の何気ない出来事まで、題材は自由です。温かい、小さな灯を読む人の心にも映してほしいのです。

**応募資格** ようぼく

**応募規定** 字数は800字以上1500字以内、ほか。

採用作品は平成21年、『陽気』創刊60年の年に単行本として刊行の予定。締切り 平成20年12月31日

※詳細は、「陽気」8月号の57Pをご覧ください。

## 教祖の御姿を偲ぶ

明治七年、本部から東方の滝本村で生まれた山村イカさんが、昭和二十五年、数え七十七歳の時の話。（『教祖の御姿を偲ぶ 改訂新版』上村福太郎 著・道友社新書）

「教祖はいつも赤衣を召して、中南の西側の高い目の所に窓のあるお部屋に北向きになられて、三畳敷の台の赤いお座布団に気高くおいででございました……夕方お屋敷に参りますと、教祖はにこにこ遊ばされ、『さあさあよう参りましたなあ。あかりでも入れ

## 「陽気」の仲間を探してください！

「陽気」は来年、創刊60年を迎えます！天理教の信仰を胸に、同じ「陽気」の名で売れている、地域のみなさんに親しまれている、そんな「お店」や「会社」を知りませんか？“そう言えば”と思われるみなさま、ご一報ください。電話0743 (62) 4503 FAX0743 (63) 8077 どうぞ、よろしく願います。（ハガキも可）

## 「陽気」読者講演会

### 家族が一番の抗がん剤

5年前、胃がんで胃を全摘した氏が、信仰を通して得た生きる勇気を語る。

高杣禎彦（ようぼく・俳優 元チェッカーズ）

10月25日（土）午後2時より  
陽気ホール（おやさとやかた 南右第二棟四階）

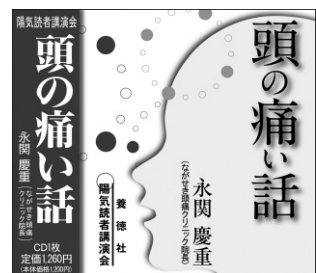
「ある日、子守の友達二、三人とお屋敷に参りますと、教祖は台の上で、かわいいおかつぱ姿のたまへ様とお二人して、赤い糸で糸とりをしておいでになりました。教祖は私達が縁の近くに参

りますと、『さあさあ、皆こっちへおいで、一緒に糸とりしましょう』と、にこにここと仰せになりました。……」

「……お庭に、余り大きいくない石を盛ったかんろだいの所がありました。その群石に向けて、参った人がちんちんと石に音をたてて一厘銭のお賽銭を投げては、周りに中腰になつて、あしきはらい」ので、をどりをして



## 講演会CDの紹介



## 頭の痛い話

永関 慶重

（ながせき頭痛クリニック院長）

1、260円（税込）

現代病の一つである「頭痛」。三千例を超えるうつ病患者の生育歴を探り、原因を究明した専門医が、その克服法をわかりやすく解説しています。ストレス社会から脱出する「心」をサポートします。

## 最新「陽気」八月号から

新連載小説「神に見澄まされて―みちすがら幻想―」が始まります。教祖を求めて止まない信仰者が、その熱い思いを『教祖伝』にぶつけて紡ぎだした教祖像の物語です。

※ご購入は、おちばの各書店でお求めくださるか、直接当社へご注文ください。

☎0743・62・4503

## 養徳社 よもやま話

○先日、夕涼みにでかけた。地元のおばさんに道案内され着いた場所には、数えられないほどの蛍がいた。幻想的な光景とそんな環境が残っていることに感動し、子どものようにはしゃいだ。昔ながらの自然、親切にしていたいたお婆さんのやさしさに心身ともに癒された。

○旧知の会長さんとお会いした時、「うちには『陽気』が創刊号からずっと並んでいるよ」とおっしゃった。社で話をする。「ぜひ来年の創刊六十周年の記事に……」ということに。「うちも『陽気』全巻揃っている」という方、ぜひご一報ください。

## 広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか？ 掲載料金は、広告の大きさによって異なります。料金は、記事中で一回二万円から。

詳しくは養徳社広告係まで  
☎0743・62・4503

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

養徳社